



集中して作業を行う会員の皆さん

ウイメンズネットワーク洞爺湖の冬の恒例行事、編み物教室が、洞爺湖町文化交流会館で行われました。1月24日、2月2日、7日、9日の4回シリーズで、延べ100人の会員らが参加しました。

最終日の2月9日の教室では、約30人が参加。

会員らは自分で手編みしたベストなどを着用しながら、かぎ針などを使い黙々と自分の思い描いたセーターやネックウォーマー、帽子などを完成させていきました。

ウイメンズ編み物教室 思い思いの手編み作品完成

洞爺湖4年ぶり優勝 洞爺湖町杯ママさんバレー大会

2月5日 第37回洞爺湖町長杯近隣市町ママさんバレーボール大会（洞爺湖町バレーボール協会主催）が、あぶた体育館で開かれ、チーム洞爺湖が4年ぶりの優勝を果たしました。

9チームが参加して、1ブロック3チームずつの3ブロックで予選リーグを行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメントで勝敗を競い合いました。

洞爺湖は、予選リーグを全勝で突破し、決勝トーナメントでもその勢いそのまま勝ち進み、頂点を極めました。キャプテン代理の青山里美さんは「地元の大会で優勝できてうれしい」と喜びを語りました。



優勝したチーム洞爺湖のメンバー

薬膳ワークショップ ジオの恵みを調理

「ジオ食材を活用した薬膳ワークショップinとうやこ」（洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会主催）が、2月9日、洞爺ふれ愛センターで開かれ、地元野菜などを使った薬膳料理に挑戦しました。昨年に続いて2年目の取り組みで、国際中医薬膳師の野村洋子さん（札幌市）を講師に約30人が参加。

調理の前に野村さんが、日々の食事で体調を整えていく食用薬膳について説明。実習では、この時季に合わせ身体を温めることを主眼に、スペイン料理のにんにくスープ「ソパ・デ・アホ」、キノコのマリネ、酒粕タンドリーチキン、ブロッコリーライスを調理し、



野村さん(中央)の指導を受けながら料理を作る参加者たち

ジオの恵みをおいしく味わいました。



息の合った演奏を披露したうまいものコンサート

演奏会「産地直奏うまいものコンサート」（同実行委員会主催）が、2月11日洞爺湖文化センターで開かれました。日ごろ大編成で演奏できない小規模の中学校吹奏楽部員の交流機会の創出を目的に10年前に始まった同コンサート。今回は、3月に閉校となる久保内中学校を加えた5校と虻田吹奏楽団、伊達吹奏楽団の有志総勢110人が出演しました。

コンサートは3部構成で、吹奏楽の曲からジャズ、ロックなど幅広いジャンルの曲が演奏され、息の合ったサウンドを披露しました。

産地直奏うまいものコンサート 中学生らが合同演奏会

西胆振3町の中学校吹奏楽部と社会人吹奏楽団との合同



まちのわだい